

講義名	住宅産業論			授業形態	
担当教員	辻本 乃理子		開講期・曜日・時限	後期 水曜日 2 時限	
	単位数	2	履修開始年次	3 年生	ナンバリング・コード
					SOC381

### 主題と概要

現在、わが国の住宅市場は新築市場から中古市場への転換に迫られている。本講義では、わが国の住宅産業の歴史的な変遷を解説すると共に、それらを支えた技術についての概説を行う。さらに住宅をめぐる諸問題や生活についても解説し、わが国の今後の住宅産業についての展望を行うことを目標とする。

### 到達目標

新築市場から中古市場への転換に直面している今、社会において、既存ストック活用を促進する様々な手法が生まれている。わが国の住宅の変遷と現在の住宅について学ぶことで、住まい手が自ら住居に対し、あらゆる方面から積極的に関わる「新しい住まい手のあり方」を、講義を通して思索する力を育てることができる。

### 提出課題

講義中に課す小レポートおよび課題。提出方法は授業内での提出またはキャンパスクロスとしますが、講義中の教員の指示に従うこと。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出された課題の記述内容の紹介、質問や評価コメントについては、キャンパスクロス及び講義中に行う。

### 評価の基準

定期試験70%、講義中に課す小レポートおよび課題30%。  
課題点は内容の充実度、分量など総合的に判断し採点する。

### 履修にあたっての注意・助言他

- ・受講の内容を基に定期試験、小レポートを課すため毎回出席すること。
- ・プリントの配布は、講義中にのみ行う。欠席した学生には配布しないので注意すること。
- ・講義連絡については授業内およびキャンパスクロスにて行うことがあるため、教員の指示に従うこと。またキャンパスクロスの確認を行うこと。
- ・授業後、自らの講義で配布したレジュメ、資料を用いて復習を行い各自内容理解に努めること。不明点に関する質問は積極的に行うこと（質問はキャンパスクロスおよび授業内でフィードバックする）。
- ・授業計画は、進行状況により多少前後、変更する場合がある。

### 教科書

・使用しない。

### 参考図書

### その他

授業レジュメ・資料は講義中に配布する。  
参考文献については講義中に適宜紹介する。

### 授業計画

- 第1回：本講義の概要説明、オリエンテーション  
予習：シラバスを読み、授業の概要を理解し、気になったキーワードについて事前に調べておくこと（120分）  
復習：配布資料やノートを確認し、授業の進め方を理解しておくこと（120分）  
第2回：わが国の都市・生活環境の変化  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第3回：日本の住宅の歴史と変遷 近現代の住まい  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第4回：日本の住宅の歴史と変遷 住宅業界の現状  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第5回：日本の住宅の歴史と変遷 密着市街地の居住環境改善  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第6回：日本の住宅業界の構造 住宅業界の構造、戸建住宅の構造・工法  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第7回：日本の住宅業界の構造 住宅の企画から完成まで、住宅に関わる仕事  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第8回：住宅業界の規制、法律 建築法体系の概要  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第9回：住宅業界の規制、法律 住宅関連法  
予習：キーワードについて事前に調べておくこと（90分）  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第10回：中古住宅市場への動き  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第11回：バリアフリーとユニバーサルデザイン  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第12回：循環型社会と住宅  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第13回：高齢者・環境に配慮した住宅  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第14回：住居内の環境と住生活  
復習：配布資料やノートを確認し、用語の意味や理論を説明できるようにしておくこと（60分）・授業で扱った内容を自身の日常生活に照らし合わせて考え、説明できるようにしておくこと（90分）  
第15回：本講義のまとめ、講義の理解度の確認  
予習：これまでの授業資料・ノートを振り返り、内容を整理し疑問点を記録しておくこと（100分）  
復習：配布資料をもとにこれまでの授業資料・ノートを振り返り、内容を整理しておくこと（140分）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A・L型であるけれども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

- （1）現実社会における日常生活での暮らし方と今後の生活環境の創造に資することができる。
- （2）DPが示す実践的な活動につながることはないが思索する能力を養うことができる。
- （3）居住社会における住まい方を理解し、教育社会における住宅の役割を養えることができる。
- （4）目標を達成することで、人々の生活の拠点となる住居に關しと生活のつながりを理解し、循環型社会における住まい方を創造することができる。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

### 実務経験の有無及び活用

実務経験あり。都市計画コンサルタント研究員として従事。行政や民間企業から委託を受け、まちの将来像を設計・提案した経験をもとに講義を行う。

### 備考